

## 30. ごぼう

・殺菌剤（参考農薬）

| FRAC<br>コード | 薬剤名          | 使用方法 | 使用時期       | 使用回数  | 備考                |
|-------------|--------------|------|------------|-------|-------------------|
| M4          | オーソサイド水和剤 80 | 散布   | 収穫 14 日前まで | 5 回以内 |                   |
| NC          | カリグリーン       | 散布   | 収穫前日まで     | －     | 野菜類(トマト、ミニトマトを除く) |
| NC+M1       | ジーファイン水和剤    | 散布   | 収穫前日まで     | －     | 野菜類(なすを除く)        |
| NC          | ハーモメイト水溶剤    | 散布   | 収穫前日まで     | －     | 野菜類               |

・殺虫剤（参考農薬）

| IRAC<br>コード | 薬剤名         | 使用方法 | 使用時期      | 使用回数  | 備考 |
|-------------|-------------|------|-----------|-------|----|
| 3           | アディオオン乳剤    | 散布   | 収穫 7 日前まで | 5 回以内 |    |
| 4           | アドマイヤーフロアブル | 散布   | 収穫 7 日前まで | 2 回以内 |    |

- 注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。
- 注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。
- 注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。
- 注4) 蚕毒・魚毒については、「34. 野菜類の総括注意」も参照する。s

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

| 病害虫名                  | 防除時期  | 防 除 方 法   | 注 意 事 項   |
|-----------------------|-------|---|---|
| 黒 斑 病<br>(F)          | 生育期間  | [参考農薬]<br>1. オーソサイド水和剤 80 の 800 倍液を散布する。                                  | 1. 生育初期に多発すると実害が大きいので、発生を認めたら速やかに防除を実施する。   |
| う どん こ 病<br>(F)       | 生育期間  | [参考農薬]<br>1. カリグリーン、ハーモメイト水溶剤の 800～1,000 倍液、ジーファイン水和剤 1,000 倍液のいずれかを散布する。 | 1. カリグリーンは発生初期に 5～6 日間隔で、連続散布する。<br>2. 葉裏にも十分かかるように散布する。<br>3. ジーファインは、高温多湿時に散布すると銅による薬害発生の恐れがある。 |
| ネコブセンチュウ<br>ネグサレセンチュウ | は 種 前 | 1. 土壌線虫の項を参照する。   |   |
| アブラムシ類                | 生育期間  | [参考農薬]<br>1. アディオオン乳剤 2,000 倍液、又はアドマイヤーフロアブル 4,000 倍液を散布する。               | 1. アディオオンは蚕毒及び魚毒に、アドマイヤーは蚕毒に特に注意する（特別指導事項参照）。   |